

## 快挙！阿蘇中央高校馬術部が全国大会で31年ぶりの優勝！

優勝報告に市役所を訪れた阿蘇中央高校の生徒と顧問の皆さん



第47回全日本高等学校馬術競技大会が7月24日から2日間、静岡県で行われ、九州代表として団体戦に出場した阿蘇中央高校馬術部

が見事優勝し、31年ぶり2度目の全国制覇を成し遂げました。

貸与馬による減点法で行われた本大会には、全国から36校が出場。3校で争われた1回戦を圧勝した同校は、僅差で決勝まで勝ち上がり岐阜農林高との決勝戦で12・21のスコアで接戦を制しました。

唯一の3年生でキャプテンの中島崇臣さんは「大会の雰囲気は飲み込まれないよう試合に臨んだ。自分たちのいつもどおりの戦いのできて優勝することができました」と喜びを語りました。

今回出場した選手のうち、池田駿一郎さんと田代まりさんは、地域総合型スポーツクラブで馬術競技を経験し同校馬術部に入部。園田淳二監督は「ぜひ小学生からスポーツクラブ（馬術）に参加してもらいたい」と競技人口が減る馬術競技の盛り上がりに向けてお寄せしていました。

### 住民総出で盛り上げる

西湯浦地区の大祭「西湯浦八幡宮大祭（七夕祭）」が8月7日行われました。

午前から、厳粛な中で神事が始まり、田植え唄に合わせて、地元子どもたちや住民による神幸行列が練り歩き、神輿が神殿に納められました。

昨年、災害により中止になり、2年ぶりの開催となった夜の余興イベントでは、恒例のジュース早飲み、トマト早食い競争のほか、夜遅くまで練習を積み重

### 西湯浦八幡宮大祭

ねてきたという母子の創作ダンスを披露し、会場から手拍子や声援が飛びました。

また、地元有志でつくる「なべづる劇団（園田浩文代表）」による肥後にわかでは、水戸黄門の物語に阿蘇の方言や地域の話題を織り交ぜ、会場は笑いでも包まれました。訪れた地元住民からは「お祭りをいつも楽しみながら、2年ぶりのお祭りを満喫したようでした。」



1 母子創作ダンスのようす  
2 肥後にわかで白熱した演技を披露

草原風景などがラッピングされた  
阿蘇市環状線の路線バス



## 世界ジオパーク 加盟認定に弾みを！

～ラッピングバス運行開始～

世界ジオパーク推進協議会は、阿蘇地域の世界ジオパーク加盟認定に向けた取り組みの一つとして、市内を走る路線バス2台に、阿蘇地域に生息する植物の写真や風景写真で覆ったラッピングバスを整備。8月12日から運行が始まり、JR阿蘇駅前で出発式が行われました。

阿蘇に暮らす人々に地域の自然を守る意識を感じてもらい、観光客にジオパークの魅力を発信しようと、青と緑を基調に1台にはオオルリシジミやヒバリなどの希少生物写真がラッピング。もう1台には、あか牛や草原の風景写真がラッピングされています。

このバスは、阿蘇市管内を中心にを毎日運行しています。ぜひご利用ください。

### ジオパーク NEWS

8月16日、17日にかけて世界ジオパーク認定前の現地審査が行われました。

昨年は案内板の整備や案内人の充実などが指摘されたことを受け、今回、改善を行いジオガイドが同行して現地審査に臨みました。

審査後の講評では、昨年からの取り組みを評価される一方で、市町村間の連携など課題も指摘されました。9月には世界加盟認定に向けた推薦候補の発表が行われる予定です。

## 長年にわたり献血活動に尽力 東京応化工業に厚生労働大臣感謝状



感謝状を受け取る齊藤工場長

第49回献血運動推進全国大会が7月、福岡市で行われ、長年献血に取り組んできた東京応化工業(株)阿蘇工場に、厚生労働大臣感謝状が贈呈。8月7日に同社で伝達式が行われました。

同社は、昭和63年以来、25年間にわたり年2回の献血活動、社員に対し積極的に献血を呼びかけるなど工場を挙げて積極的に取り組んできたことが評価されたものです。

齊藤弘義工場長は「社会貢献の一環として取り組んできた積み重ねが評価された。今後も引き続き協力していきたい」と話しました。

## 健康で明るい末永い在宅生活を支援します。

### 循環器内科

高血圧・心不全・不整脈・糖尿病・狭心症・腎臓病等が主な対象です。

### 人工透析

午前、午後、夜間および入院透析

### 在宅療養支援診療所

- ・癌患者を含む在宅患者の訪問診療／訪問看護の24時間支援・訪問リハビリ
- ・入院機能を生かした在宅支援をします。



医療法人 坂梨ハート会

さかなしハートクリニック

小里249番地の2  
TEL 24-6262

広告

## 女性消防隊、雨の中奮闘！ 第3回熊本県女性消防操法大会



左から隊長：今村加奈子、1番員：山本千登美、2番員：坂梨須香、3番員：春山千恵、4番員：岩下富美代、補助員：坂梨真理（敬称略）



標的目がけ放水するようす。激しい雨の中での競技となった。

熊本県と県消防協会が主催する第3回熊本県女性消防操法大会が8月4日、菊池市で行われ、阿蘇市消防団女性消防隊が初めて出場しました。

大会は5人1組で行われ、軽可搬ポンプを用いて60分先の2つの標的を落とすまでの動作の機敏性や時間を競うもので、県内の自治体から15チームが参加。

今村加奈子隊長率いる市女性消防隊は、激しい雨のなかでの競技で、約3か月に及ぶ練習の成果を発揮しましたが、惜しくも入賞を逃しました。また、2番員の坂梨須香さんは優秀選手賞を受賞しました。

今村隊長は「悔しさは残るがやり遂げたという気持ち。週3回の練習時には消防署員や消防団の方々の協力に大変感謝しています」と仕事と家事を両立しながら練習に励んできた選手たちを労い、満足した表情で語りました。

女性消防隊は現在7人。同隊の皆さんは「一人でも多く入団してほしい」と新規入団員を待ち望んでいます。興味のある人はぜひご連絡ください。（総務課 ☎ 22・3111）

## テコンドー全国大会で銅メダル 田北歩夢君（宮地小5年）



第6回全日本ジュニアテコンドー選手権大会が7月28日、長野県で行われ、小学5年生の部で田北歩夢君（宮地小）が出場しました。大会で田北君は3回戦を勝ち抜き、準決勝で優勝者に惜しくも敗れたものの、堂々の第3位に入り銅メダルを獲得しました。



## 指導力の向上を目指して

### 阿蘇市教育研究会全体研修会

市内教職員の指導力の向上を図ろうと7月31日、阿蘇青少年交流の家で阿蘇市教育研究会全体研修会が行われました。

これは、市教育研究会が毎年開催するもので、今回で8回目。市

内小・中学校教職員をはじめ、幼稚園長や保育園長、阿蘇中央高校教職員など約250人が参加しました。

研修会では、阿蘇市学芸員の宮本利邦氏が「阿蘇の歴史的特色について」と題し、阿蘇の成り立ちや神話、遺跡など阿蘇の歴史について講話。また、岡山大学准教授の高旗浩志氏による授業の改善に関する講演があり、参加者は真剣な面持ちで研修に臨んでいました。